

3章 デザインルール編

3-1 本体デザイン

(1) 形態	31
(2) 素材	31
(3) 色彩	32
(4) 集約の考え方	34
(5) 施設内サインの考え方	35

3-2 表示デザイン

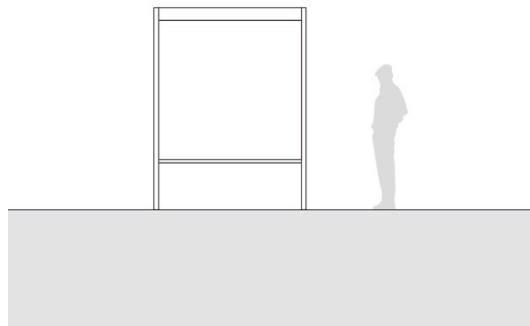
(1) 書体	36
(2) 千代田区紋章の掲載位置	37
(3) サインを補完する情報提供	38

3-1 本体デザイン

サインを「風格あるまち千代田」の景観を引き立てるための要素とするため、本体の基本的な考え方を示す。

(1) 形態

- ・ 景観の中で突出しない、水平垂直の形状を基本とする。

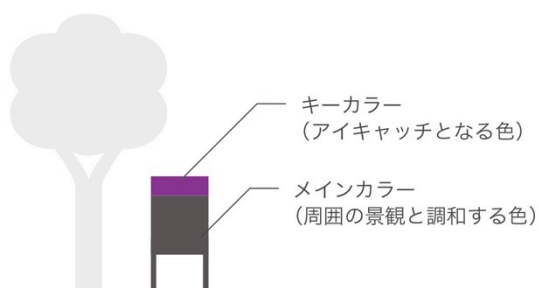


(2) 素材

- ・ 屋外で年月が経過しても、錆びにくい等、素材の美しさを保つことができるものを推奨する。
- ・ 必要に応じて、落書き・張り紙防止機能の素材を用いる。

(3) 色彩

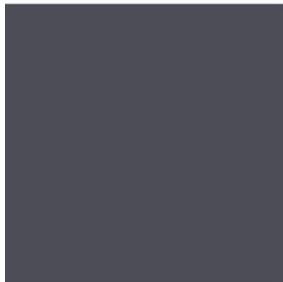
- ・ 周囲の景観と調和するようなメインカラーと、サインの顕在性確保のためのアイキャッチとなるキーカラーを設定する。



- ・ メインカラーは、落ち着いた低明度・低彩度の色である「ダークグレー」とする。
施設や事業の特徴等、独自性を尊重する必要がある場合には、他の色を用いることができるが、低明度・低彩度の色を用いる。
- ・ キーカラーは、サインの機能によって2種類を設定する。施設や事業の特徴等、独自性を尊重する必要がある場合には、キーカラーを用いないことや他の色とすることができる。
 1. 基本キーカラー「江戸紫」：
区としての基本カラー
 2. 高彩度キーカラー「赤」：
禁止系サイン等に用いる、顕在性を重視した彩度の高いカラー
 3. キーカラーなし：
 - ・ 歴史的資産（文化財）等との調和が必要な場合
 - ・ 素材や形状、設置場所になじまない場合
 - ・ 独自の色がある場合
- ・ 禁止系サイン等、特に顕在性を確保し、内容を周知させる必要がある場合には、ピクトグラムの下部にキーラインを表示し、サインの存在を明確にすることができる。

メインカラー

ダークグレー（灰色）



参考値：
 (CMYK 値) C0 M2 Y0 K68
 (Pantone No.) PANTONE Cool Gray 11C

キーカラー

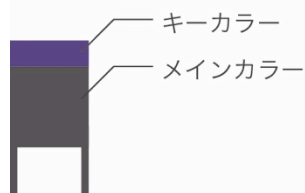
1. 基本キーカラー

江戸紫



参考値：
 (CMYK 値)
 C78 M100 Y0 K33
 (Pantone No.)
 PANTONE 269C

- ・公園サイン
- ・施設サイン
- ・ごみ集積所サイン
- ・広報板
- ・観光案内板



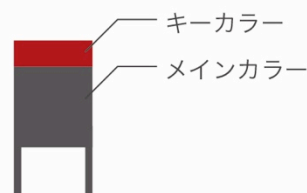
2. 高彩度キーカラー

赤



参考値：
 (CMYK 値)
 C0 M100 Y81 K4
 (Pantone No.)
 PANTONE 186C

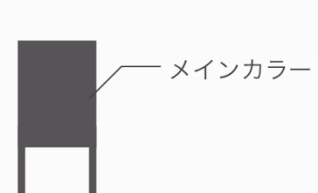
- ・路上喫煙禁止サイン
- ・放置自転車禁止サイン



3. キーカラーなし



- ・文化財サイン
- ・道路通称名サイン

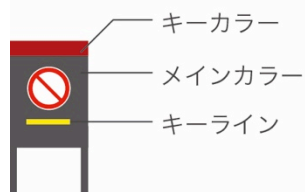


キーライン

黄



参考値：
 (CMYK 値) C0 M24 Y94 K0
 (Pantone No.) PANTONE 123C



（４）集約の考え方

複数のサインを集中して設置していると、まちの景観に影響を及ぼすだけでなく、情報が伝わりにくくなる要因にも成りうる。1つのサインに情報を集約することで景観への配慮と、効果的な情報伝達が可能となる。

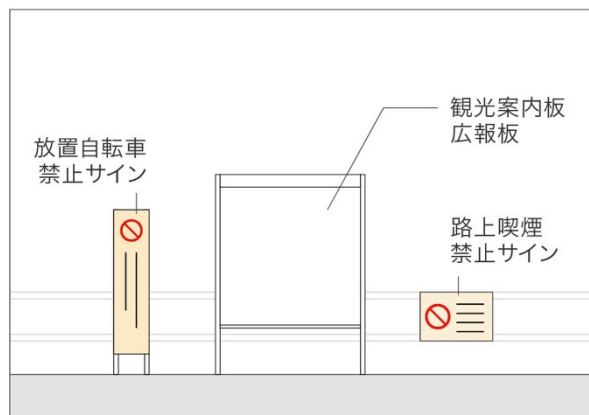
集約の方法

「路上喫煙禁止サイン」や「放置自転車禁止サイン」等の禁止・規制系サインは、基数が多く設置されている。

そこで、近接して「観光案内板」「広報板」「路上喫煙禁止自立サイン大」が設置されている場合は、禁止系サインの情報を集約する。

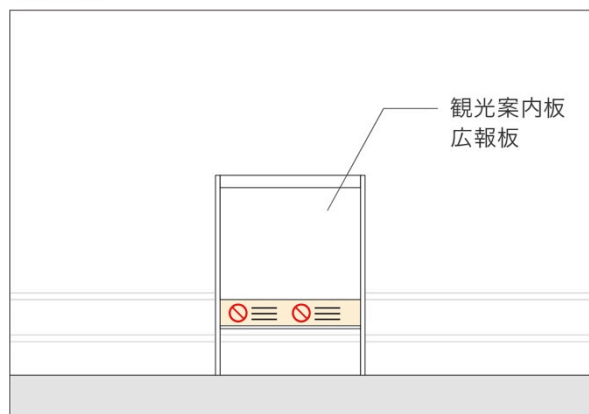
集約の方法（一例）

集約前



様々な種類、サイズのサインが集中して複数設置

集約後

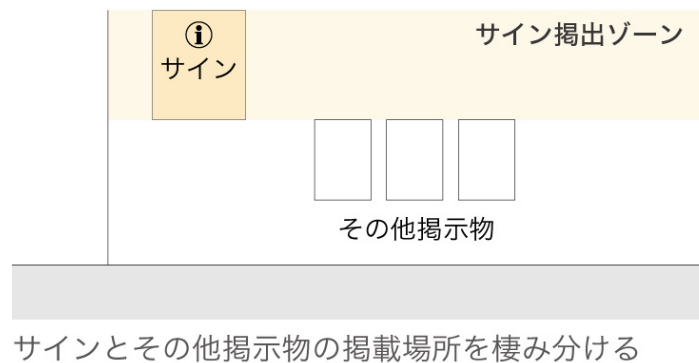
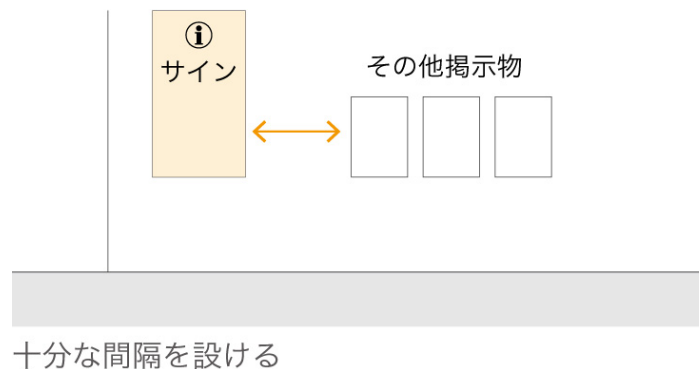


観光案内板や広報板等に、禁止・規制系サインの情報を集約

（５）施設内サインの考え方

施設内は、限られた空間の中にサインやその他様々な情報が混在する。また、仮設サインが設置される場合もあり、利用者にとって分かりにくい状況となっている。そのため、施設内サインの基本的な考え方を示す。

- ・ サインとその他掲示物（ポスター等）の掲出場所の棲み分けを行い、必要な情報を認識しやすくすることが望ましい。



- ・ 広い視野が確保できない場所が多いため、動線に対して正体する向きにサインを設置することが望ましい。
- ・ 仮設サインを設置する場合、常設サインとデザインを統一し、複数のサインを設置するのではなく、情報をできる限り集約することが望ましい。
- ・ 仮設サインが設置される場所を想定し、計画段階から掲示場所を確保しておくことが望ましい。

3-2

表示デザイン

(1) 書体

- ・ 千代田区設置のサインについて、統一した書体を設定する。
- ・ 基本書体は、ゴシック体である「ヒラギノ角ゴシック」「Frutiger」とする。
- ・ 個性を表現したいサイン（文化財等）は、明朝体や筆書体を用いることができる。
- ・ ウェイト（太さ）は限定しないが、可読性に配慮して選定する。

基本書体（ゴシック体）

和文：ヒラギノ角ゴシック

あいうえおかきくけこアイウエオ
千代田区役所 大手町 秋葉原

欧文：Frutiger

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789

個性を表現したい場合（明朝体、筆書体）

（明朝体を使用する場合）

和文：黎ミン

あいうえおかきくけこアイウエオ
千代田区役所 大手町 秋葉原

欧文：Sabon

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789

（筆書体を使用する場合）

和文：新正楷書CBSK1

あいうえおかきくけこアイウエオ
千代田区役所 大手町 秋葉原

欧文：Sabon

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789

(2) 千代田区紋章の掲載位置

千代田区設置のサインには、所有者・管理者明記の役割として「区の紋章」と「千代田区の名称」を記載する。記載位置を統一することで、多種多様なサインに統一感を持たせることができる。

緊急的に設置する仮設サインについては、千代田区紋章や千代田区の名称の記載は必須ではないが、サイン設置後に随時状況を把握し、継続的にサインの管理を行うことが必要である。

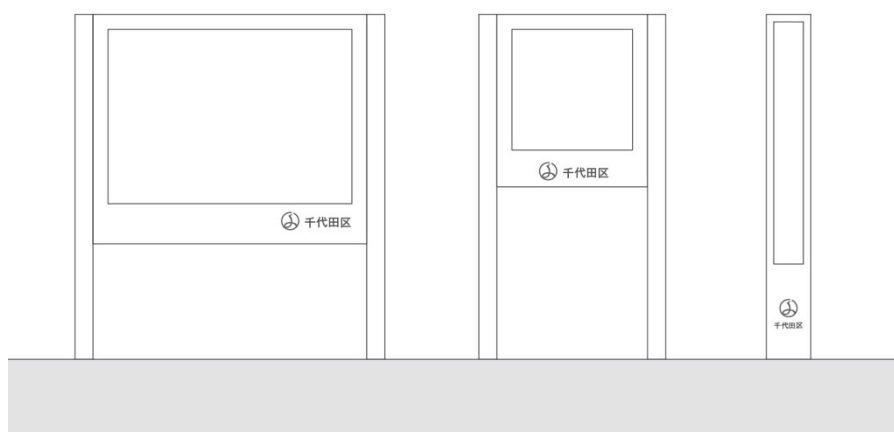
千代田区紋章



千代田区名称

千代田区

掲載位置



サインの形状に関わらず、「千代田区紋章」と「千代田区名称」をセットでサインの下部に掲載することを基本とする。

(3) サインを補完する情報提供

案内サインを補完する情報提供として、デジタルサイネージなどの ICT ツールを活用することが考えられる。

デジタルサイネージは、表示面の選択により、限られたスペースにおいて様々な情報を多言語で伝達することが可能である。また、ICT ツールの一種である QR コードは、QR コードを読み取ることで、各観光施設等の情報を携帯電話等で見ることができる。

情報を補完する手段として ICT ツールは有効と考えられるが、導入にあたっては、設置費用や耐用年数、本体や提供する情報の維持管理等について考慮した上で検討する必要がある。